

## 発見！白井の仕事人⑩ 技術力が東京スカイツリーに 株式会社シラヤマ

今回は、名内にある「株式会社シラヤマ」を紹介し、(株)シラヤマは白山良一社長の父により昭和24年に東京都江戸川区で創業後、昭和49年に当時の白井町に進出し、昭和59年に二代目として社長に就任しました。

(株)シラヤマは、造船や鉄鋼業から始まり、これらで培った技術を活かして、超高層ビルなどの「カーテンウォール(ガラス張りの建物を支えることを目的としている壁)」分野を得意としています。

これまで、テレビ朝日や日本テレビなどテレビ局のアトリウムフレームや渋谷で開業した大型複合商業施設「ヒカリエ」のカーテンウォールなどさまざまな顧客の要望に応えており、皆さんもよくご存知の東京スカイツリーでは、展望台のアルミガラスユニットを取り付けるための縦骨を担当しました。



丸の中にある縦骨557本を担当しました

特に東京スカイツリーの第一・第二展望台は地上350以上の高度がある

## 発見！白井の仕事人⑪ 新聞を通じた 株式会社エヌ・アイ・エス

とから、これまで以上に部材のひずみ取りの難しさや風圧や振動に耐える強度が求められました。が、(株)シラヤマが持っている高い技術力により縦骨の製作が実現しました。



ひずみ取りの作業中

最近では異業種との連携により新しい分野にも挑戦し、橋の拡張工事技術では特許を取得し、全国の工事で採用されています。

最後に白山社長に今後のビジョンを聞くと「ものづくりは現場力、技術力が欠かせない。社会に貢献するために、さらに技術力を磨いていきたい。また、技術力に加え、社員のアプローチも貴重な財産であり、優れたアイデアは積極的に取り入れることで会社全体の活力および社会貢献をしたい」と話してくれました。

東京スカイツリーに上った際は、景色のほかにもガラス越しに縦骨の一部が見えますので、白井発信の技術を見てください。

問 商工振興課商工振興班 内線 3241

## 発見！白井の仕事人⑫ 地域と教育への熱意 株式会社エヌ・アイ・エス

けやき台にある「株式会社エヌ・アイ・エス」は、能登昭博社長が昭和62年に当時の「朝日新聞白井専売所」を引き継いだ後、創業し、平成3年に法人化しました。

(株)エヌ・アイ・エスは、新聞販売が本業ですが、「地域のコミュニケーションを担う情報ステーション」も目指しています。自ら地域情報紙を発行して市民や店舗の交流の場を設けているほか、さまざまなネットワークを活用し、顧客の暮らしの困りごとに対してサポートを行うなど、地域貢献も行っています。また独自に購読者へのポイント制度を設けており、貯めたポイントには市内の協力店での買い物にも利用できるなど、地域を盛り上げようとしています。

この他、子どもの言葉の力を育む活動を行っています。取材の仕方から写真の撮り方、原稿の書き方までを体系的に指導し、子どもたちの成長を間近で見守ったことが、自身の成長にもつながった経験から、社員が我が子の成長を見守るために、休暇を取りやすい体制を構築しています。



子ども記者体験の様子

さまざまなお取り組みを進めている(株)エヌ・アイ・エスですが、社長に今後のビジョンを聞くと「当社だからこそできる地域貢献と、子どもたちの教育を続け、地域と学校をつなぐ架け橋になりたい。ぜひ、新聞をかわいがってほしい」と話してくれました。

問 商工振興課商工振興班 内線 3241

## 発見！白井の仕事人⑬ 鋼材の卸売からチャレンジ 株式会社進富

今回は、平塚に本社兼工場があり、名内にも工場がある「株式会社進富」を紹介し、(株)進富は、日色進会長が鋼材の専門商社を退社後、昭和57年に当時の沼南町に独立・開業し、平成13年に白井市に進出した。



株式会社進富の工場

開業当時は、鋼材の卸売を専業としていましたが、将来的に卸売業だけでは事業継続が難しくなると感じ、鋼材の加工にも進出して付加価値を生み出すことに注力しました。

現在では、鋼材加工で培った技術を活用し、住宅資材などの設計や製作も行っており、大手住宅メーカーやアパートなどの施工管理会社から、屋内外の階段や屋根材、外壁材などさまざまな資材を受注しています。

特に、部屋ごとに分割して工場を生産し、現場で組み立てるユニット工法では、狭小地には向かないというデメリットがありますが、進富では

狭小地にも対応できるユニット工法があり、他社にはない強みとなっています。もしかしら皆さんの住宅にも(株)進富の資材が使われているかもしれません。



製作した階段の一例

最後に、日色会長に今後のビジョンを聞くと、「当社はこれを作る会社」と決めつけて自らの可能性を制限することなく、多くの人に喜ばれる良い製品づくりにチャレンジしたい。また、今後の人口減少による国内需要の減少を見越し、これまで進めてきた海外への展開を拡大したい。」と答えられました。

最近では、可能性へのチャレンジにより、今後10年をかけて全面改修を実施することとなった東海道新幹線の補修工事の一部を製造受託したと

これからも(株)進富の果敢なチャレンジに注目していきます。

問 商工振興課商工振興班 内線 3241